

GHG（温室効果ガス）排出量 2024 年 9 月期分【確定値】

公表日：2025 年 9 月 24 日

GHG（温室効果ガス）排出量 2024 年 9 月期分【確定値】

EPS グループの 2024 年 9 月期の温室効果ガス排出量（CO₂e：二酸化炭素換算量）についてお知らせします。

対 象 期 間： 2024 年 9 月期（2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）
集計対象範囲： EPS グループ 連結決算対象 28 社
日本国内に所在する 11 社 （Scope 1～3）
米国、台湾に所在する 2 社 （Scope 1～2）
EPS 創健科技集團有限公司とその関連会社 15 社（Scope 1～2）
算定実施期間： 2025 年 1 月～2025 年 6 月
総 排 出 量： 25,300 tCO₂e [マーケット基準]、25,200 tCO₂e [ロケーション基準]

Scope 別内訳（マーケット基準）：

Scope	排出量 (tCO ₂ e)
Scope 1（直接排出量）	48
Scope 2（エネルギー起源間接排出量、マーケット基準）	2,050
Scope 3（その他の間接排出量）	23,200
グループ（国内、一部海外含む マーケット基準）合計	25,300

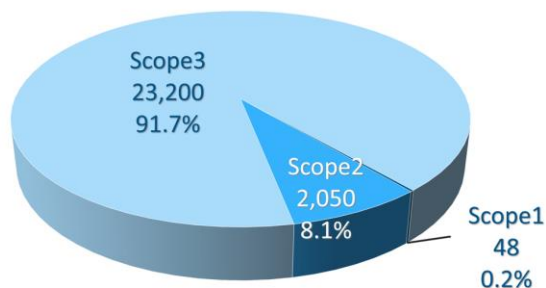
Scope 別内訳（ロケーション基準）：

Scope	排出量 (tCO ₂ e)
Scope 1（直接排出量）	48
Scope 2（エネルギー起源間接排出量、ロケーション基準）	2,000
Scope 3（その他の間接排出量）	23,200
グループ（国内、一部海外含む ロケーション基準）合計	25,200

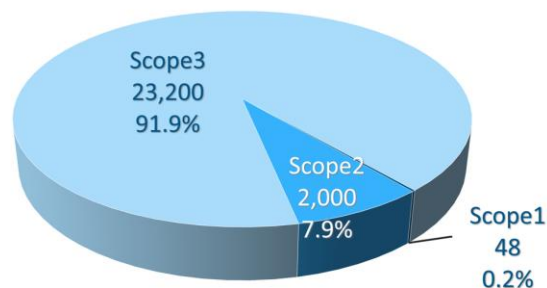
- ※ 確定値の表記：上記一覧に記載された温室効果ガス排出量（Scope 1、Scope 2、Scope 3）ならびに合計値は、有効数字の最上位から 3 桁目までを表示し 4 桁目において四捨五入しています。なお、有効数字が小数点以下にかかる場合は、繰り上げ処理を行い、整数として表記しています。
- ※ 監査保証取得：Scope 1、Scope 2（マーケット基準およびロケーション基準）、Scope 3 の排出量については、2025 年 9 月 5 日付で第三者機関による保証を取得しています。詳細は本書末尾に添付の保証報告書をご参照ください。

当年:2024年9月期 Scope別の排出量割合
(単位:tCO₂e)

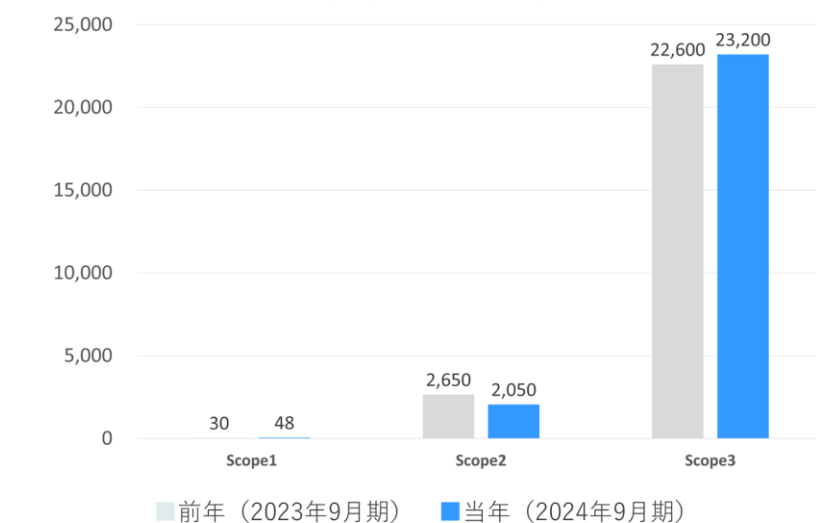
【マーケット基準】



【ロケーション基準】



当年・前年 排出量比較【マーケット基準】
(単位:tCO₂e)



前年比 : GHG 排出量 Scope1-2

マーケット基準

Scope	単位	排出量【前年】 2023 年 9 月期	排出量【当年】 2024 年 9 月期	前年比 (%)
Scope1	tCO2e	30	48	60%
Scope2 (マーケット基準)	tCO2e	2,650	2,050	-23%
Scope 1-2 合計 (マーケット基準)	tCO2e	2,680	2,100	-22%

ロケーション基準

Scope	単位	排出量【前年】 2023 年 9 月期	排出量【当年】 2024 年 9 月期	前年比 (%)
Scope1	tCO2e	30	48	60%
Scope2 (ロケーション基準)	tCO2e	2,830	2,000	-29%
Scope 1-2 合計 (ロケーション基準)	tCO2e	2,860	2,050	-28%

前年（2023 年 9 月期）・当年（2024 年 9 月期）のバウンダリは以下の通りです。

前年：日本国内 16 社

当年：日本国内 11 社、米国、台湾に所在する 2 社、EPS 創健科技集團有限公司と傘下 15 社

前年からの増減の主な理由は以下の通りです。

Scope 1 Scope3 からの区分変更による増加：前年は Scope 3 に含めて報告していた一部のガソリン使用による排出量について、当年は Scope 1 に該当する分を分離し、Scope 1 として算定しました。

Scope 2 推定値から実績値への切り替えによる減少：前年は使用量の把握が困難だった拠点について推定値での算定を行いましたが、当年はより正確な使用量実績に基づく算定が可能となり、大幅に減少しました。

端数処理を行っているため、合計値と各項目の合算値は一致しない場合があります。

前年比 : GHG 排出量 Scope 3

Category	単位	排出量【前年】 2023 年 9 月期	排出量【当年】 2024 年 9 月期	前年比 (%)
Category1 購入した製品・サービス	tCO2e	15,900	16,600	4 %
Category2 資本財	tCO2e	1,680	810	-52 %
Category3 Scope1,2 に含まれない 燃料及びエネルギー活動	tCO2e	467	328	-30 %
Category4 輸送・配送（上流）	tCO2e	1,300	228	-82 %
Category5 廃棄物	tCO2e	前年データなし	197	--- %
Category6 従業員の出張	tCO2e	1,950	1,715	-12 %
Category7 従業員の通勤	tCO2e	1,200	1,410	18 %
Category13 リース資産（下流）	tCO2e	49	65	33 %
Category15 投資	tCO2e	前年データなし	1,790	--- %
Scope 3 合計	tCO2e	22,600	23,200	3 %

前年・当年のバウンダリは以下の通りです。

前年：日本国内 16 社

当年：日本国内 11 社

Scope 3 Category5、15 は当年が算定初年のため、過去の測定データはありません。

端数処理を行っているため、合計値と各項目の合算値は一致しない場合があります。

留意事項

特にありません。

独立第三者の保証報告書

2025 年 9 月 4 日

EPS ホールディングス株式会社
代表取締役
巖 浩 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所
代表取締役 福島 隆史



1. 目的

当社は、EPS ホールディングス株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2024 年 9 月期の会社国内グループおよび海外事業会社※の温室効果ガス排出量 Scope1 : 48 t-CO₂e、Scope2（マーケット基準）: 2.05 kt-CO₂e、Scope2（ロケーション基準）: 2.00 kt-CO₂e、会社国内グループの Scope3（カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,13,15 計）: 23.2 kt-CO₂e に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、温室効果ガス排出量が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。温室効果ガス排出量は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

※ EPS AMERICAS CORP, Total Trial Management Consulting Co., Ltd.の 2 社、および、EPS 創健科技集團有限公司とその関連会社で海外に拠点のある会社

2. 保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。

当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・ 算定方針について担当者への質問
- ・ 算定方針の検討
- ・ 算定方針に従って温室効果ガス排出量が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3. 結論

当社が実施した保証手続の結果、温室効果ガス排出量が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上